

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市児童館（非公募）
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3 指定期間	平成31年4月1日から令和4年3月31日まで
4 施設の利用状況	《利用者数》 868,143人（前年度比 54.7%） 令和元年度 1,587,135人 平成30年度 1,400,164人 平成29年度 1,439,375人
	《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 2,160,579千円（ 1,892,182千円）非公募館65館分 ・ その他市が負担した費用 0千円（ 0千円）
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円（ 0千円） ・ その他収入 0千円（ 0千円）
6 利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート，児童館運営委員会，児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、救命救急訓練の全職員受講や毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	全館において、児童クラブでは、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、昨年度より、コロナ禍のために縮小している乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	19/19

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>一年を通して様々な制限がある中、地域における児童館の役割について見つめ直し“今でもできること・今だからできること”を合言葉に地域の実情に応じて取り組みました。</p> <p>（児童健全育成事業）自由来館が再開になった土曜事業を充実させた結果、これまで来館していなかった学年や親子の参加が見られ、新たなニーズの把握にもつながりました。</p> <p>（子育て家庭支援事業）年度当初の利用制限時には、行き場を失った乳幼児親子に玄関先や館庭で“おうち工作キット”を配付して孤立を防ぎ、自由来館再開に向けて、利用者とのつながりを維持する工夫をしました。</p> <p>（地域交流推進事業）発表の機会が失われた地域の高校吹奏楽部から相談を受け、市民センターと合同でミニコンサートを開催した結果、新たな地域連携の機会にもなりました。</p> <p>（放課後児童健全育成事業）コロナ禍での生活習慣を楽しみながら身に付けることができるよう、手洗いや人との距離について、音楽やキャラクターを活用して工夫しました。</p> <p>（その他）8回目となる児童館フェスタは、11月15日（日）に七北田公園体育館で開催。事前申込制・定員制・午前午後入替制とし、ワンフロアでの適切なゾーニング等により感染予防に配慮しました。来場者からは、「イベントが中止の中、決断をされたことに感謝！消毒が1回ごと定着していて、参加する側の安心につながった。親子で久しぶりのイベントにとっても満足」との声を頂きました。</p> <p>5回目となる児童館フォーラムは、「いまこそ児童館・いまだから児童館」と題して2月14日（日）に県内来場者と全国ライブ配信で開催予定でしたが、前日深夜に発生した地震により当日開催を中止し、収録動画をユーチューブで期間限定公開しました。7日間で1,033回の閲覧がありました。</p> <p>以上のことから、どんな状況でも児童館機能をできる限り発揮し、その実践は次年度につながるものになったと評価しています。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度は、コロナ感染症の影響で緊急事態宣言が4月に発令され、小学校が5月まで休校となったが、休校中も児童クラブの受け入れを行った。この間、乳幼児親子の自由来館及び小学生の自由来館を休止していたが、その後、乳幼児親子の自由来館は6月から平日午前のみ再開し、小学生の自由来館は10月から土曜日のみ再開した。感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力を要した児童館運営となった。</p> <p>施設の管理運営については、指定管理者が策定した全館共通の各種マニュアル等に基づき適切に行われ、いずれの館も必要な水準を満たしている。施設や設備の維持管理も日々確実に行われており、利用者が安全安心かつ快適に過ごせる環境を整えている。</p> <p>児童健全育成事業では、各児童館において、地域の実情に応じて、感染予防に配慮しながら地域人材や周辺環境などの資源を有効に活用し、状況を見ながら事業を展開している。運動遊び、自然体験、社会体験、近隣の施設との連携事業等を通して、地域交流や世代間交流を図り、様々な体験を通して子ども達が心身ともに豊かに成長できる機会を多く作っている。</p> <p>子育て家庭支援事業では、コロナ禍の中で利用時間が制限される中で、様々な行事を工夫しながら開催し、日々の利用を通して、乳幼児の情緒や健康な身体への発達を促すとともに、保護者同士の交流や情報提供、相談の場などを提供している。また、子育て支援施設、地域の諸団体、行政機関等と連携し、子育て家庭を見守る支援ネットワークの構築に取り組んでいる。</p> <p>いずれの館においても、全ての事業について安定したサービスを提供しつつ、新規利用者の増加や利用者の満足度向上に向けて、常に新たな行事等の検討や課題点の改善などに取り組んでいる。今後も、それぞれの地域特性や子どもの興味関心を捉えた日常プログラムや行事の展開など、更なる児童館事業の充実が期待できる。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項